



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 日新製鋼ホールディングス株式会社  
 コード番号 5413 URL <http://www.nisshin-steel-hd.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三喜 俊典

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 榊 信行

TEL 03-3216-6300

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	270,336	—	8,562	—	12,852	—	9,163	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 18,881百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	91.69	—
25年3月期第2四半期	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	708,797	—	196,558	—	26.5	—
25年3月期	694,250	—	179,253	—	24.8	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 188,166百万円 25年3月期 171,926百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期の配当につきましては、現時点で未定です。期末配当予想額の開示が可能になり次第、速やかに開示いたします。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	548,000	5.6	17,000	—	19,000	—	15,500	—	155.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無  
(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	109,843,923 株	25年3月期	109,843,923 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	9,912,111 株	25年3月期	9,903,441 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	99,935,453 株	25年3月期2Q	— 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。  
・当社は、平成24年10月1日付で、日新製鋼株式会社と日本金属工業株式会社の経営統合により、両社を完全子会社とする株式移転設立完全親会社として設立されたため、平成25年3月期第2四半期実績は記載していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の鉄鋼業界におきましては、政策効果や円高修正による輸出環境の改善等を背景に、自動車分野や建材分野をはじめとした需要部門の活動水準が回復するなど、国内の鋼材需要は総じて堅調に推移しました。海外においては、米国経済の回復基調に加えて、欧州経済にも改善の兆候が見え始める一方、中国における鋼材需給バランスは改善目途が立たず、海外の鋼材市況は総じて低調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは早急に黒字化を図るべく、当社、日新製鋼株式会社および日本金属工業株式会社が一体となり、徹底したコスト改善とコア製品（ZAM、特殊鋼、ステンレス、カラー鋼板）の拡販等による収益基盤強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、当社連結子会社である日新製鋼株式会社堺製造所冷間圧延機の火災事故影響などのマイナス要因があったものの、上記のとおり積極的な拡販を中心にグループ一体で収益改善に取り組んだ結果、売上高2,703億円、営業利益85億円、経常利益128億円、四半期純利益91億円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、たな卸資産の増加（51億円）、投資有価証券の増加（101億円）等があり、前連結会計年度末（平成25年3月末）より145億円増加し、7,087億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加（34億円）、有利子負債の減少（△105億円）等があり、前連結会計年度末より27億円減少し、5,122億円となりました。

純資産は、四半期純利益（91億円）、その他の包括利益累計額の増加（85億円）等があり、前連結会計年度末より173億円増加し、1,965億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の鉄鋼業界におきましては、政策効果や復興需要等に牽引される形で、自動車分野や建材分野を中心に国内の鋼材需要は引き続き堅調に推移することが見込まれます。その一方、中国における過剰生産能力に起因する世界的な鋼材需給ギャップという構造的問題は、解決の目途が立たない状況であり、今後もアジア地域の鋼材市況低迷や輸入鋼材増加等を背景として厳しい競争が続くものと考えられます。

このような状況のなか、当社グループは従来から取り組んでいるきめ細かな合理化・総コスト削減活動に加え、生産設備の稼働集約や新設備の導入メリット最大化などの取り組みも積極的に推進し、内外の環境変化にも柔軟に対応できる強靱な収益基盤を構築してまいります。さらに、今後伸長が予想される分野の鋼材需要を確実に捕捉するため、コア製品の販売体制強化を目指した新たなビジネスモデルを展開し、これまで以上に特徴あるコア製品の提案型拡販活動に注力、収益拡大に努めてまいります。

以上の経営環境や施策の取り組みを勘案し、このたび平成26年3月期通期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の連結業績予想は、売上高5,480億円、営業利益170億円、経常利益190億円、当期純利益155億円と、平成25年8月5日に開示した予想数値から修正することといたしました。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社の国内連結子会社（一部を除く）は、有形固定資産（建物を除く）について定率法による減価償却方法を適用しておりましたが、当社グループの環境変化と投資方針を踏まえ、以下の理由により、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

昨今の鉄鋼業界を取り巻く環境は、近隣諸国における粗鋼生産能力の増強による需給不均衡、国内市場の低迷と縮小化等が生じ、急速に変化しております。

このような厳しい事業環境に対応すべく、当社グループはコスト競争力と事業効率の強化を実現するため、日本金属工業株式会社との経営統合を契機に、グローバル事業体制の構築を大きな柱とした平成25年度から平成28年度までの4ヵ年を実行期間とする「24号中期連結経営計画」を策定し、この中で国内市場においては、以下のような新たな販売・生産体制、設備投資体制の構築を図っていくこととしております。

すなわち、国内販売・生産体制については、従来、高級・独自分野を開拓し、需要増に対応して新製品や戦略品種を拡大させることを目指してまいりましたが、今後は、安定した需要が見込まれるコア製品の生産に経営資源を集中する生産体制に転換し、安定的な国内販売・生産体制の構築を図っていくこととしております。

このことから、設備投資体制についても、これまでの将来の成長分野への投資を積極的に推進する方針から、今後は、安定的な生産体制を構築するために投資を厳選し、品質向上やコストダウンのための投資を中心とする方針に転換することとしております。

これらの国内販売・生産体制、設備投資体制の変化を踏まえますと、当社グループにおける設備は、今後長期にわたり平均的かつ安定的に稼働すると見込まれ、これに対応した減価償却費を計上し、適切な費用配分を図るため、有形固定資産（建物を除く）の減価償却方法を定額法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が3,760百万円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,712百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,274	37,961
受取手形及び売掛金	74,397	71,575
有価証券	5,134	—
たな卸資産	138,320	143,497
その他	17,356	25,892
貸倒引当金	△680	△693
流動資産合計	277,802	278,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	78,212	77,858
機械装置及び運搬具(純額)	95,268	96,816
土地	73,114	73,129
その他(純額)	10,093	10,196
有形固定資産合計	256,689	258,002
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	116,185	126,374
その他	35,787	38,336
貸倒引当金	△787	△769
投資その他の資産合計	151,185	163,941
固定資産合計	416,051	430,297
繰延資産	397	264
資産合計	694,250	708,797
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	81,234	84,666
短期借入金	106,744	88,871
コマーシャル・ペーパー	25,000	25,000
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
引当金	208	141
その他	35,916	36,032
流動負債合計	259,103	254,711
固定負債		
社債	100,000	80,000
長期借入金	91,816	109,137
退職給付引当金	35,859	36,583
特別修繕引当金	13,124	13,421
その他の引当金	791	785
その他	14,302	17,598
固定負債合計	255,893	257,527
負債合計	514,997	512,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	90,055	90,055
利益剰余金	49,797	57,518
自己株式	△8,732	△8,737
株主資本合計	161,120	168,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,366	16,967
繰延ヘッジ損益	385	△452
土地再評価差額金	360	360
為替換算調整勘定	△5,305	2,454
その他の包括利益累計額合計	10,805	19,329
少数株主持分	7,327	8,392
純資産合計	179,253	196,558
負債純資産合計	694,250	708,797

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	270,336
売上原価	239,578
売上総利益	30,757
販売費及び一般管理費	22,195
営業利益	8,562
営業外収益	
受取利息	99
受取配当金	4,442
持分法による投資利益	2,926
為替差益	530
その他	741
営業外収益合計	8,739
営業外費用	
支払利息	2,844
出向者労務費差額負担	657
その他	947
営業外費用合計	4,449
経常利益	12,852
特別利益	
固定資産売却益	55
投資有価証券売却益	1,398
特別利益合計	1,453
特別損失	
固定資産除売却損	736
その他の投資評価損	191
火災損失	1,740
特別損失合計	2,668
税金等調整前四半期純利益	11,637
法人税等	1,506
少数株主損益調整前四半期純利益	10,131
少数株主利益	968
四半期純利益	9,163

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成25年4月1日  
至 平成25年9月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	10,131
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,472
繰延ヘッジ損益	△1,086
為替換算調整勘定	2,307
持分法適用会社に対する持分相当額	6,056
その他の包括利益合計	8,749
四半期包括利益	18,881
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	17,686
少数株主に係る四半期包括利益	1,194

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

I. 平成25年度第2四半期決算

1. 損益状況等

(億円)

	H25年度上期			H24年度下期 (実績)	H25年度上期 (前回予想)	差異		
	4-6月(実績) a	7-9月(実績) b	(実績) c			① c-d	② b-a	③ c-e
売上高	1,311	1,392	2,703	2,720	2,690	▲ 17	81	13
営業利益	54	31	85	▲ 86	65	171	▲ 23	20
経常利益	60	68	128	▲ 96	70	224	8	58
四半期純利益	49	42	91	▲ 266	45	357	▲ 7	46

在庫評価	10	▲ 5	5	▲ 25	10	30	▲ 15	▲ 5
経常利益<実力ベース>	50	73	123	▲ 71	60	194	23	63

(ステンレス業績・上記の内数)

経常利益	15	50	65	▲ 50	15	115	35	50
------	----	----	----	------	----	-----	----	----

在庫評価	10	▲ 5	5	▲ 5	5	10	▲ 15	0
経常利益<実力ベース>	5	55	60	▲ 45	10	105	50	50

2. 諸元

	H25年度上期			H24年度下期 (実績)	H25年度上期 (前回予想)	差異		
	4-6月(実績) a	7-9月(実績) b	(実績) c			① c-d	② b-a	③ c-e
粗鋼生産量 (万トン)	98	100	198	196	200	2	2	▲ 2
うちステンレス	17	19	36	33	35	3	2	1
販売数量 (万トン)	88	88	176	189	179	▲ 13	0	▲ 3
うちステンレス	13	15	28	30	28	▲ 2	2	0
鋼材平均単価 (千円/トン)	119	123	121	114	120	7	4	1
輸出比率 (金額ベース, %)	17	15	16	16	16	0	▲ 2	0
輸出為替レート (円/ドル)	99	99	99	87	100	12	0	▲ 1

3. 経常利益差異内訳

①H24年度下期(実績) 対 H25年度上期(実績)

(億円)

(内ステンレス)

H24年度下期(実績)	▲ 96	変動要因	▲ 50
変 販売関連	90	価格差 40、数量構成差 10、輸出為替差 40	50
動 購買関連	▲ 50	鉄鉱石 15、石灰 15、油類 5、ニッケル原料 30、輸入為替差 ▲115	▲ 20
要 コスト改善等	109	減価償却方法変更37、緊急収益対策 15、合理化等	30
子会社等	45	海外連子他	45
在庫評価	30	▲25→5(内ステンレス ▲5→5)	10
因 計	224		115
H25年度上期(実績)	128		65

②H25年度4-6月(実績) 対 H25年度7-9月(実績)

(億円)

(内ステンレス)

H25年度4-6月(実績)	60	変動要因	15
変 販売関連	20	価格差 5、数量構成差 15	10
動 購買関連	▲ 35	鉄鉱石 ▲15、石灰 5、ニッケル原料 5、輸入為替差 ▲30	0
要 コスト改善等	▲ 2	堺火災影響 ▲5、合理化等	0
子会社等	40	海外連子他	40
在庫評価	▲ 15	10→▲5(内ステンレス 10→▲5)	▲ 15
因 計	8		35
H25年度7-9月(実績)	68		50

## ③H25年度上期（前回予想） 対 H25年度上期（実績）

(億円) (内ステンレス)

H25年度上期(前回予想)	70	変動要因	15	
変動要因	販売関連	10	価格差 15、数量構成差▲5	5
	購買関連	5	ニッケル原料 5	5
	コスト改善等	8	堺火災影響 5、合理化等	0
	子会社等	40	海外連子他	40
	在庫評価	▲ 5	10→5(内ステンレス 5→5)	0
計	58		50	
H25年度上期(実績)	128		65	

## 4. 貸借対照表 (H25年9月末)

(億円)

		対H25/3末			対H25/3末
現預金	379	▲ 53	有利子負債	3,230	▲ 105
売上債権	715	▲ 28	その他の負債	1,892	77
たな卸資産	1,434	51	負債合計	5,122	▲ 27
その他流動資産	251	33	資本金・資本剰余金	1,200	—
有形・無形固定資産	2,663	14	利益剰余金	575	77
投資等	1,642	126	自己株式	▲ 87	▲ 0
			その他の		
			包括利益累計額	193	85
			少数株主持分	83	10
資産合計	7,087	145	純資産合計	1,965	173
			負債・純資産合計	7,087	145

## II. 平成25年度業績予想

## 1. 損益状況等

(億円)

	H25年度			H25年度 (前回予想)	差異	
	上期(実績) a	下期(予想) b	(予想) c		① b-a	② c-d
売上高	2,703	2,777	5,480	5,570	74	▲ 90
営業利益	85	85	170	120	0	50
経常利益	128	62	190	140	▲ 66	50
当期純利益	91	64	155	120	▲ 27	35

在庫評価	5	0	5	5	▲ 5	0
経常利益<実力ベース>	123	62	185	135	▲ 61	50

(ステンレス業績・上記の内数)

経常利益	65	▲ 25	40	40	▲ 90	0
------	----	------	----	----	------	---

在庫評価	5	▲ 5	0	0	▲ 10	0
経常利益<実力ベース>	60	▲ 20	40	40	▲ 80	0

## 2. 諸元

	H25年度			H25年度 (前回予想)	差異	
	上期(実績) a	下期(予想) b	(予想) c		① b-a	② c-d
粗鋼生産量 (万ト)	198	199	397	398	1	▲ 1
うちステンレス	36	32	68	68	▲ 4	0
販売数量 (万ト)	176	193	369	371	17	▲ 2
うちステンレス	28	29	57	57	1	0
鋼材平均単価 (千円/ト)	121	122	122	121	1	1
輸出比率 (金額ベース, %)	16	16	16	15	0	1
輸出為替レート (円/ドル)	99	100	100	100	1	0

## 3. 経常利益差異内訳

## ①H25年度上期（実績） 対 H25年度下期（予想）

(億円) (内ステンレス)

H25年度上期(実績)		128	変動要因	65
変動要因	販売関連	50	価格差 50	▲ 10
	購買関連	▲ 30	石炭 10、ニッケル原料 10、輸入為替差 ▲50	0
	コスト改善等	▲ 26	合理化等	▲ 15
	子会社等	▲ 55	海外連子他	▲ 55
	在庫評価	▲ 5	5→0(内ステンレス 5→▲5)	▲ 10
計		▲ 66		▲ 90
H25年度下期(予想)		62		▲ 25

## ②H25年度通期（前回予想） 対 H25年度通期（今回予想）

(億円) (内ステンレス)

H25年度通期(前回予想)		140	変動要因	40
変動要因	販売関連	▲ 5	価格差 ▲5	▲ 30
	購買関連	20	鉄鉱石 ▲15、ニッケル原料 25、輸入為替差 10	30
	コスト改善等	35	堺火災影響 5、合理化等	0
	子会社等	0		0
	在庫評価	0	5→5(内ステンレス 0→0)	0
計		50		0
H25年度通期(今回予想)		190		40

## 4. 株主還元

第2四半期末の配当については、遺憾ながら見送り。  
通期末の配当については、現時点で未定。

## 〔参考〕有利子負債・ネットD/Eレシオ

	H25/3末	H25/6末	H25/9末
手許預金(億円)	432	304	379
有利子負債(億円)	3,335	3,196	3,230
ネットD/Eレシオ	1.69	1.59	1.51
〃 (格付ベース) ※	1.35	1.28	1.22

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッド証券  
(利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債<劣後特約付・適格機関投資家限定>)  
500億円について、その50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ

以上